

平成 30 年 7 月 31 日

株式会社 ミライト

東京海洋大学と電池推進船インフラ整備の共同研究を開始

～優れた環境特性の電池推進船舶運航の発展に向けて～

株式会社ミライト(本社:東京都江東区、代表取締役社長:中山 俊樹、以下、ミライト)は、国立大学法人東京海洋大学(越中島キャンパス:東京都江東区、以下、東京海洋大学)との間で、EV(電気自動車)急速充電インフラ工事・保守の技術経験を活かした、海上交通充電インフラ整備推進に関し7月1日に締結した共同研究契約に基づき、8月1日より、河川・海岸周辺環境における機器の設置や動作状況に関する地理的、気候的条件調査等の具体的な活動を開始します。

近年、大都市圏では、陸上交通網の飽和状態を緩和するため、また、災害時などの輸送経路確保のため、水上交通網の整備が始まっています。陸上交通においては、低環境負荷を実現する技術開発や自動運転を実現するための技術開発が積極的に行われている状況にあります。水運の活用においても、これら科学技術を導入していくべきであるとの考えから、東京海洋大学では、海洋低環境負荷モーダルシフト(=地球温暖化対策の一環として低環境負荷の物流体系を構築していくため、輸送に必要なエネルギーが比較的少ない船舶等に輸送形態を転換すること)の考えのもとに次世代の水上交通システム(Autonomous Waterborne People Mover, AWPM)の研究開発が行われ、平成22年春には世界初の急速充電対応型電池推進船を建造しました。当該電池推進船は、リチウムイオン電池・推進モーターを動力とすることで、「低騒音・低振動」、「航行中の排気ガス・二酸化炭素を排出しない」、「高出力かつ短時間の充電時間」といった多くの利点を有しています。その後も様々なタイプの電池推進船を建造した後、平成26年には初の商用船の建造にも協力しました。

一方、電気自動車の需要が高まるなか、ミライトではいち早くEV急速充電器の設置工事に着手し、全国の商業施設、高速道路等を中心に全国約1,200カ所の整備実績を有しています。ミライトは、東京海洋大学の海洋低環境負荷モーダルシフトの考えに賛同し、EV急速充電器設備整備のノウハウと通信インフラ建設技術を提供することにより、東京海洋大学とともに海上交通充電インフラ整備に向けた共同研究を行っていきます。

本共同研究は、経済産業省が推進している「電気自動車(EV)・プラグインハイブリッド車(PHV)タウン構想」にもつながり、急速充電設備を陸上交通、水上交通で共用するなど、河川・海岸周辺へのEV・電池推進船の普及だけでなく、低炭素社会に向けた新たな街づくりに寄与することをめざしています。



東京海洋大学建造 電池推進船 『らいちょう N』

■参考

「急速充電型電池推進船「らいちょう」

世界初の急速充電対応型電池推進船 海洋低環境負荷モーダルシフト」

<http://www2.kaiyodai.ac.jp/~takamasa/kaiyodai-ees-project/>

■会社概要

会社名 : 株式会社ミライト
設立 : 昭和 19 年 12 月
代表者 : 代表取締役社長 中山 俊樹
所在地 : 〒135-8112 東京都江東区豊洲五丁目 6 番 36 号
資本金 : 56 億 1,091 万円
URL : <https://www.mrt.mirait.co.jp/>

■大学概要

大学名 : 国立大学法人東京海洋大学
設立 : 旧東京商船大学と旧東京水産大学を平成 15 年に統合
所在地 : 品川キャンパス 〒108-8477 東京都港区港南 4-5-7
越中島キャンパス 〒135-8533 東京都江東区越中島 2-1-6
URL : <https://www.kaiyodai.ac.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ミライト
次世代モバイルビジネス創造本部
EV 充電システムビジネス推進部
TEL: 03-6807-3158
E-Mail: jisedai-ev@mirait.co.jp

【本件に関する報道機関からのお問い合わせ先】

株式会社ミライト 経営企画本部
総務部 広報室
TEL: 03-6807-3711
URL: <https://www.mrt.mirait.co.jp/>